

はじめに

昨年度を振り返ると、2019年末（4年半前）以来のコロナは、感染者数が一昨年の2022年8月中旬に1日当たり26.1万人の過去最多を記録、昨年初めピーク24.5万人の第8波となり、その後減少傾向、政府は昨年のゴールデンウィーク明けの2023年5月8日（月）感染症の分類を「2類感染症」から「5類感染症」に変更しました。

その後の世情の推移はご承知の通り、昨年は2500万人（コロナ前の2019年は3100万人）の外国からの観光客が訪れ、株価は昨今過去最高の4万千円越えを記録し、大手企業の春闘での賃上げは組合要求に満額回答、はては要求以上の回答をするという前代未聞の政府・企業主役の新型春闘、労働組合も不要か（？）さて皆様の懐は潤ったのでしょうか？

この平和な日本とは裏腹に、国土を侵略から守るため戦っている国（国民）があるのです、1995年（30年前）出版ですが、国土を守るということはどういうことなのかということを考えさせられる、中立国といわれるスイス政府編纂の「[あらゆる危険から身を守る”民間防衛”](#)」（25.7MB）という本を紹介いたします。

元旦の能登半島地震の現状は、市町村の1次避難所177か所・県の1.5次避難所（スポーツセンター）1か所・2次避難所（ホテル等）226か所に9,654人が避難生活をしているとの事です（石川県HP、3月22日現在）。赤坂台は地形的に大きな違いはあるものの、地震に対して個々人で備えておく事も必要ではないでしょうか？今一度自宅周りの点検・整備・準備を考えてみましょう。

さて、各役員の皆様1年間ご苦勞様でした、役員を離れましても、今後ともご協力よろしく願います、役員がいなければ自治会活動は成り立ちません、皆さんの参加をお願いします。

赤坂台校区連合自治会 会長 石飛 明夫

令和5年度役員の皆様ご苦勞様でした

会 長	石飛 明夫	副会長	中山 英治	書記長 兼務 祭り委員長	山本 政樹
会 計	矢野 信夫	理 事	津川 政義	理 事	清水 基広
理 事	上橋 彩	会計監査	北野 國博	会計監査	桂 昭則
幹事役員	池内 優子	高橋雄一朗	長田 美保	高橋 誠	大柱 順子
	鏡原 幸代	北山 好江	森下 和重	相沢 まち	松浦 鉦平
	和久利正博	外池 勝義	伊藤 一成	黒添 恵美	黒川 進一
	西川 雅文				
スポーツ 推進委員長	鈴木 美穂	防災委員長 兼務会長代行	中山 英治	花クラブ	島崎 光子